

インクルーシブダンス

ワークショップ

～みよしのはら～



インクルーシブダンスとは、年齢や性別、障がいの有無といった違いにかかわらず、それぞれの体で自由に創造し生き生きと表現するダンスのこと。こどもから大人まで、障がいのある人もない人もみんな集まって他者とふれあったり身体を開放したり、その空間でしか生まれないダンスを楽しみましょう！

日時 **2024年**
7月28日

10:30～12:00 (1時間30分) ※10:00～受付開始

会場 **コピスみよし(三芳町文化会館) 2階ミニホール**

参加費 **500円** ※付き添い・介助者の方の見学は無料。見学希望の場合も要事前申し込み。

定員 **20名** (介助者を含む) 障がいの有無に関わらず小学生以上

申込締切 **2024年7月26日(金)まで**
※先着順で定員に達し次第締め切り

参加条件 **記録撮影にご承諾いただける方**
※ワークショップの様子は写真や動画で記録するほか、劇場及びNPO法人みんなのダンスフィールドの広報活動及び学会発表等に使用することがあります。

当日の持ち物 **動きやすい服装・室内履き・タオル・水分補給できるもの**
必要に応じて着替えなど

<要事前申込> 申込方法は裏面へ

講師



チーフファシリテータ
あきた ゆきこ
秋田 有希湖

お茶の水女子大学同大学院で上演舞踊学を学び修士号を取得。保育・教育現場での身体表現研究を進めながら被災地や公立劇場等で多様な人々とのWSを重ねファシリテーションを磨く。障害者就労支援センターでのワークショップを行う(2021-)。鶴見大学短期大学部准教授。



ファシリテータ
みずむら まりこ
水村 麻理恵

芸術と社会のつながりを模索し英国に留学。現地でインクルーシブダンスカンパニーのワークショップ、パフォーマンス制作に携わる。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ応用演劇科修士修了。「NPO法人みんなのダンスフィールド」「東京のはら表現部」等でファシリテーションを学ぶ(2019-)。特別支援学校の子どもたちとのワークショップを行う(2021-)。

1998年に代表である西洋子と6名の子どもたちにより設立。性別や年齢・障がいの有無を超えて互いの個性を尊重し共に楽しむ身体表現活動を行うことを通じて、包容力のあるインクルーシブな社会の実現に寄与することを目的に設立された。2021年には「のはら共創」というファシリテーショングループを結成。あらゆる人が、生き生きと自己を表現し、生命的なつながりから創造が展開する時空間を「のはら」と名付け、その「のはら」を社会の様々な場所に拡げていく活動を行っている。



申込方法

以下の必要事項を窓口、電話、郵送、FAX、メールのいずれかでご提出ください。

- ①氏名
- ②メールアドレス
- ③電話番号
- ④住所
- ⑤年齢
- ⑥障がいの有無と車いす使用の有無
- ⑦介助者ありの場合は介助者参加の有無
- ⑧そのほか、配慮してほしいことなど

注意事項

- ・ワークショップは、主催者で傷害保険に一括加入します(参加費は保険料に充当します)。
- ・せき、鼻水、のどの痛み、発熱など、感染症等の感染が疑われる症状がある場合にはご参加いただけません。

お申込み・問い合わせ先

コピスみよし(三芳町文化会館)

☎049-259-3211 FAX:049-259-3244 (9:00~21:30)

メール:coppice-miyoshi@kpb.co.jp

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保1100-1 休館日:月曜日(月曜祝日の場合は翌火曜日)